概　要
第 12 回　市民と市長の対話ひろば　～もりりんと語ろう、宝塚市の未来～ テーマ：行財政改革について （令和 7 年中に方向性を出すことを検討している事業について）
日時：令和 7 年 11 月 20 日（木）　午後 2 時～午後 4 時 場所：西谷会館　屋内活動室 参加者：24 名 市出席者：森市長 総務部経営改革担当－政処部長、田外次長 総務部業務改革推進課－吉川係長 市民交流部－藤田部長、新城次長
《市長のテーマ説明内容》 市民と市長の対話ひろば 11 月資料「検討を進めている事業の整理とこれからの政策を含む行財政改革について」をご参照ください。 《対話》 1　参加者【火葬場について】 ・火葬場の稼働率がどれくらいか気になる。時期によっては 1 週間の待ちが発生することがあると聞く。遺体安置に必要なコストが高額になることもある。他市では友引の日も稼働しているため、本市も友引に稼働させることはできないか。今後、稼働率がさらに上がると予想しているので、その対応をお願いしたい。 ➡　市長 ・火葬場の稼働率を把握していないが、時々空きがあるとのこと。友引の日についても、試行的に稼働を開始している。今後、繁忙期である 1 月については、友引の日も稼働日としていきたい。 ・火葬場使用料の見直しについて、市内と市外で価格差をつけており、これまで市内 1 万円、市外 4 万円であった料金を、市内は 1 万 5 千円、市外は 6 万円に見直したい。他市町とくらべて突出せず、市民に使っていただけるような料金設定を目指している。 ・今後数年は需要が増加し、その後減少することを見込んでいる。一方、職員の育成を進めており、今後の火葬場運営は問題ない見込み。需要増加に対応できるよう、しっかり対応していく。 2　参加者【指定管理料について】 ・西谷会館・西谷児童館の指定管理を受けているが、指定管理料が据え置かれており、物価高や人件費の増加に苦しんでいる。また、職員は最低賃金で働いている状況。 ・来年度からも継続して、5 年間の指定管理を受けることとなったが、経費の増加に対応

してほしい。会館には多くの部屋がないため、利用料を上げることも難しい。

➡　西谷会館担当職員

・指定管理料については、毎年上げていくことができないため、今回、一定の人件費上昇分を考慮した指定管理料としている。また、地域団体や市の行事等で会館等を利用する際には減免していることについても認識している。今後の改善に向けて、皆様と対話し、状況を把握しながら、財政部局とも協議し、努力したい。

3　参加者【指定管理料について】

・子ども館等の指定管理を受けている。指定管理料のうち 90%が人件費で、残り 10%を光熱費や維持費に充てている。現在の人件費は最低賃金であり、今後、国の最低賃金引き上げにより運営が難しくなることを懸念していることから、担当課にスライド条項を導入したいと要望したが断られた。今後、最低賃金が上がると運営が困難になるため、改善を求めたい。

・子ども館は、乳幼児や小学生が来る場所であり、特に乳幼児を抱えるお母さんたちにとって重要な相談場所である。理事たちはボランティアで長年活動しており、今後の 5 年間の運営が難しくなると思っている。子どもの暮らしづくりに関する支援は必要。

➡　市長

・子ども館と同様の問題が市全体で多く発生しているが、財政的な制約があるため、すべてに対応することは難しい状況である。個別の問題ではなく、全体の話として受け止めている。

・市長就任後、財政の厳しさを実感しており、現在は全ての課題に対応することが困難な状況である。施策に優先順位をつける中で、子育て支援や子ども館の重要性も理解している。これらの課題を解決するためには行財政改革を進めていく必要があり、市民の声を受けて、より良い方向に進むよう努力する。

4　参加者【高校生の通学バスの運賃について】

・高校生から、通学において JR 武田尾駅からのバス代が高く負担が大きいと聞いた。伊丹市ではバスが巡回しており運賃も安い。これからの宝塚市の交通について考えてほしい。

➡　市長

・高校生への通学補助については、予算が限られているため対応が難しい。また、本市は公共交通の維持を目的とするバス会社への支援を長年実施しているが、現状よりも予算を増額することは難しく、併せて、バス会社としても運転手を維持・確保することが困難な状況である。

・全国的にバス運賃の負担が増えており、時代が変わり他市でも状況は苦しいと思われる。

5　参加者【宝塚市立病院の受け入れについて】

・長年リウマチで足に痛みがあり、かかっている病院が遠距離で通院が不便。宝塚市立病院に良い先生が勤めていると聞き、かかりつけ医に紹介状の作成をお願いしたところ、整形外科は既に 200 人以上の患者を受け入れており難しいと聞いたが本当か。

➡　市長

・宝塚市立病院の整形外科の状況を把握していないが、受け入れ態勢は救急搬送も含め積極的に患者の受け入れをしている。紹介状の受け入れについては確定的なことは言えないが、一度宝塚市立病院に直接問い合わせていただきたい。

6　参加者【西谷地域での教育について】

・宝塚市域の約 60%を占める西谷を有効活用すべきと考えている。市内全員が通える特認校がある西谷で、探究型教育の実現を目指しているということであるが、現状、車での送迎が必要。また、西谷は市街化調整区域のため、家を建てるのも困難である。学校近くに住民が住める区域を設けることや、通学バスを出すことを提案したい。

➡　市長

・バス路線を多くすることは費用の問題でなく、運転手の確保などの問題があり難しい。まずは、JR 武田尾駅からの通学支援を検討したい。バス路線については調整中で、具体的な話はまだできないが、しっかりと検討していきたい。